



令和 8 年度入学用

〔小中高一貫教育校〕

東京都立 立川国際中等教育学校附属小学校

TOKYO METROPOLITAN TACHIKAWA KOKUSAI P-12 SCHOOL  
SCHOOL GUIDE

# ようこそ「チーム立国」へ

Welcome to "Team Tachikoku"



校長  
よこ た まさ ひろ  
横田 雅博

## 挑戦者となって共に歴史と伝統を

これから しょうがくせいになる みなさん こんにちは。  
わたしたちの がっこうには いちねんせいから さんねんせいまでの せんぱいがいます。  
なかまを たいせつに がっこうせいかつを おくっています。 わたしたちは ひとつの  
ちいむです。  
みんな いっしょに がっこうを もっと たのしく すてきな ばしょに するために  
いろいろな ことに ちょうせんして います。  
それは じめんを しっかりと ふみしめて わたしたちの あしあとを つけていく  
ぼうけんです。  
みなさんも はるになったら「ちいむ たちこく」のなかまに なって いっしょに  
わくわくする ぼうけんに できましょう。  
ごうるは みなさんと みなさんの まわりのひとの しあわせです。  
みなさんにおあいする ひを たのしみに まって います。

## 私たちの教育の究極の目的は「自立」です。

右の図に示している教育理念は、本校の存在意義であり、目指す教育の理想です。その理想を達成するために必要な教育内容や教育方法を、教育理念と生徒の将来像から俯瞰し、逆向き設計でデザインしています。

私たちは開校後も学校を創っています。私たちが創るのは、「小学校」ではなく、「12年間一貫教育校における小学校段階」です。本校についてご説明する時は、12年後にあるべき姿を見通した視点にたってお話しします。

本校では、知育、徳育、体育の調和の取れた育成を目指し、本校で学ぶお子供が人格を陶冶し、自立した学習者となって、勇気をもって自ら道を切り拓き、より広い世界へ羽ばたいてほしいと考えています。本校で身に付けた資質・能力を思う存分に発揮して、卒業後も学び続け、よりよい世界の構築に貢献してほしいと期待しています。私たちが常に学び、全力でお子様と関わります。

### 私たちの目指す学校

#### 教育理念

次代を担う児童・生徒一人一人の資質や能力を最大限に伸ばさせるとともに豊かな国際感覚を養い、世界で活躍し貢献できる人間を育成する。

#### 生徒の将来像（卒業後の姿）

高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、様々な分野で活躍する人材

#### 卒業時（12年後）の生徒像

高い言語能力や論理的思考力、深く探究する力を身に付け、多様な人々と協働する人になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、国際社会の平和と発展に寄与しようと、様々な分野へ踏み出す人

#### 「思考力」と「行動力」

自ら課題を認識し、論理的に考え、判断し、行動できる力を育てる。

#### 「語学力」と「言語能力」

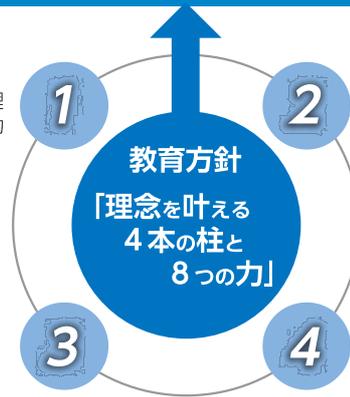
世界で通用する語学力を育み、それを支える言語能力を向上させる。

#### 「自他理解力」と「貢献力」

日本の伝統・文化を理解し尊重するとともに、多様な価値観を受容し、主体的に国際社会に参画する力を育てる。

#### 「協働力」と「革新力」

異学年との学習活動や地域連携、国際交流を通じて、他者を思いやり、協働して新しい価値を創造する力を育てる。



## 私たちの学校は歴史と伝統をつくっていく学校です。

私たちの学校は、児童・生徒と保護者の方と共に「学びの共同体（Professional Learning Community: PLC）」となって、歴史と伝統を一緒につくっていく学校であり、お子供も保護者の方も私たちが開拓者です。私たちの学校には、理想形、完成形を目指し、チーム力を高め、創造し、共に挑戦する感動と喜びがあります。それは、かけがえのない貴重な経験です。1～3期生、私たち教職員と共に前向きに、楽しみながら取り組んでいただけるお子様と保護者の方をお待ちしています。ようこそ、「チーム立国」へ！

## P-12 GRAND DESIGN

—小中高一貫教育のグランドデザイン(教育の全体構想)—

Be brave. Reach for the world.

## 目指すべき生徒像(卒業20年後の生徒の姿)

高い言語能力を活用して、世界の様々な人々と協働するとともに、  
論理的な思考力を用いて、諸課題を解決し、  
様々な分野で活躍する人材



## 目指すべき生徒像(12年後の生徒の姿)

高い言語能力や論理的思考力、深く探究する力を身に付け、  
多様な人々と協働する人になるとともに、  
身に付けた資質・能力を活用し、国際社会の平和と発展に  
寄与しようと、様々な分野へ踏み出す人



## 目指すべき児童像(6年後の児童の姿)

基礎的・基本的な言語能力や論理的思考力、  
探究的に学ぶ力を身に付け、多様な人々と協働する人  
になるとともに、身に付けた資質・能力を活用し、  
世界を視野に入れ、社会の平和と発展に寄与しようと、  
地域社会の活動に参画する人



各教科等における目指す児童像

## 探究的な学び

## 3 学びに向かう力、人間性等

- ①思考のプロセスを客観的に捉える力  
(メタ認知)
- ②多様な人々と協働する力
- ③人や社会に貢献する行動力
- ④自立した学習者となるための自己管理能力

語学力とそれを支える  
言語能力

学びを実践する学校行事

## 1 知識及び技能

- ①教科・領域における幅広い知識・技能
- ②概念の理解と技能の熟達を支える  
言語能力
- ③論理的に考えるための方法

育成すべき  
資質・能力

## 2 思考力、判断力、表現力等

- ①批判的な見方を働かせて、情報を吟味し、  
考える力
- ②知識を関連付け、根拠に基づいて探究する力
- ③日本語と英語を活用して発信する力

多様な外部機関との連携

グローバルに考える  
キャリア教育・進路指導

自立を促す生活指導

グローバル:地球規模の視野と  
地域の視点で考え  
行動すること

## ようこそわたしたちの がっこうへ

Welcome to our School

## 校章



附属小学校



中等教育学校

本校の設置及び校名の由来に基づき、都立立川国際中等教育学校の校章を基調としています。同校の校章は、母体校である都立北多摩高等学校の校章の基本的デザインを継承し、地球を、鳥の羽にかたどった月桂樹で囲み、学校名のイニシャルであるT(立川)とK(国際)を配しており、教育目標に基づき、国際社会に貢献できるリーダーとして世界に羽ばたくことを期したものです。附属小学校は、この校章に込められた精神と基本デザインを引き継ぎ、更に、公立としては全国初となる12年間一貫教育校生としての自覚と誇りをもてるよう、小中高一貫教育を表すP-12を加えました。

カラーの校章については、本校の教育理念をイメージする青と緑を基調としています。青は、国際社会で活躍する人材となるべく世界に向けて飛び立つ際の澄み切った青空を、緑は、そういった人材となるために知・徳・体を十分に耕して強く芽吹くその新芽を、それぞれ表しています。

なお、小学校という発達段階を踏まえて、月桂樹のポリウムを中等教育学校と変えています。中等教育学校進学後には、より一層豊かな葉を付けて、大空へ伸びていくという可能性とそうなるほしいという願いを込めています。

## 校歌

作詞・作曲 北多摩高等学校  
作詞校閲 下總統一

一 紫匂ふ武蔵野に  
富士の高嶺を仰ぎつつ  
師弟の道もうるはしく  
この学びやにとどひきて  
知徳を磨きわざをねる  
われらの幸ぞたぐひなき

二 朝な夕なに多摩川の  
清き流れをのりとして  
勉学友愛勤勞の  
をしへ守りて励み合ひ  
まことを求めて一すじに  
平和の道を進まん

## 附属小学校の歌

作詩・作曲 青島広志

武蔵野台地の春 わたしの季節も春  
わたしたちの過ごす十二年  
そのはじめの六年  
立国には大勢の先生や友達がいる  
そう みんなで未来をひらいてく  
わたしたちのための未来を  
まぶしい陽の光は 一日の始まりだ  
多摩川や駅前のごわめきが  
一日中間こえる  
土の上の足あとは私の生きてきたしるし  
さあ みんなで確かな一歩を  
立国の庭から踏み出そう  
世界は立国から あなたも立国から  
広い地球にはばたいてゆく  
学んできたことばで  
わかり合えることもあれば  
わかり合えないこともある  
でもその日が来るのを信じよう  
ほほえみのあふれるそのときを  
世界へのとびら  
東京都立立川国際中等教育学校  
附属小学校

## 制服

本校の教育理念をイメージする紺と緑を基調  
いきいきと活動できるデザイン  
小中高一貫教育校としての自信と誇りもち  
清潔な身だしなみを心掛け、正しい着こなしをします。



基準となる服装

制帽 ジャケット  
ハーフパンツ  
ラップキュロットスカート  
ネクタイ 長袖シャツ



夏季

制帽 ハーフパンツ  
ラップキュロットスカート  
半袖シャツ  
もしくは  
指定の半袖ポロシャツ

## ランドセル



- 色：黒色・無地
  - 「キューブ型」・「学習院型」・「リュック型」
- ※A4フラットファイル対応サイズ

ランドセルはご家庭でご準備いただけます。  
透明の校章入りランドセルカバーをかけます。  
その他ウェブサイトでご確認ください。

## 体育着



- 本校指定の白色半袖シャツ、
  - 紺色のハーフパンツ、
- 指定する仕様の紅白帽
- ※防寒のために指定したジャージ  
上下を着用することができます。  
(10月～3月)

## 研究指定校

### 教育課程特例校（文部科学省）

小学校第1学年から「英語科」を設置し、授業を週4時間実施します。低学年では、授業の内1時間は、「Eタイム」として、週3回、朝15分に分割して行います。

外国人指導者と共に、児童の発達段階に応じて、段階的に英語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り・発表〕」、「書くこと」の基礎から学びます。テキストは、東京都教育委員会が本校用に作成したものの他、文部科学省や東京都教育委員会の教材、検定教科書、CD、絵本等も活用して英語の活用力を向上させる学習に取り組みます。



▲東京都教育委員会作成テキスト  
(1年生用)

学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
英語科の標準授業時数	136	140	140	140	140	140

### 「令和6・7年度体育健康教育推進校」（東京都教育委員会）

本校は、知育、徳育、体育を調和よく育成する学校を目指しています。あらゆる活動の基本となる体力や健康づくりは、本校の教育の根幹を支えるものであることから、健康的かつ活発に学校生活を送るために必要となる体力向上及び健康的な学校生活を送るための基盤づくりに取り組みます。

現在、本校は公益財団法人東京都柔道連盟と協定を結び、相互に連携・協力して、第1学年の「多様な動きをつくる運動遊び」の領域、「力試しの動き」に柔道の要素を取り入れた教材開発を行いました。柔道の体験を通じて、児童が体幹を鍛え、より効果的な体力の向上を図るとともに、日本の伝統・文化を理解し尊重する態度や「礼法」を学び、相手を尊重する気持ちを育成します。

### 「海外学校間交流推進校」（東京都教育委員会）

グローバル人材育成の一層の促進を図るため、姉妹校交流をはじめとした、海外の小学校等との交流活動を積極的に推進していきます。

【姉妹校締結 ※予定校含】

- オーストラリア・クイーンズランド州  
レッドリンチカレッジ (Redlynch State College)
- ベトナム・ハノイ市  
グエン・シウスクール (Nguyen Sieu School)
- スリランカ・コロombo市  
アソカカレッジ (Asoka College)
- 台湾・台北市  
新生國民小学校
- ドイツ・ベルリン市  
ブルーノ・H・ブリュエゲル小学校



▲アソカカレッジより本校訪問



▲ブルーノ・H・ブリュエゲル小学校訪問



▲グエン・シウスクール訪問

### 「令和7・8年度人権尊重教育推進校」（東京都教育委員会）

一人一人の児童がその発達の段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようすることを目指します。

本校は「グローバル（地球規模の視野と地域の視点で考え行動すること）に考えるキャリア教育・進路指導」を指導の柱の一つとしてグランドデザインに示しています。

取組を通じて、人権課題「外国人」にかかわる差別意識の解消を図るための教育の推進を進めます。また、ICTを活用した学習を推進していることから、人権課題「インターネットによる人権侵害」にも取り組み、インターネットを安全に正しく活用できるようにしていきます。



# まなぼう なかまと まなぼう じぶんから

Communicators Be Independent

## 教育課程 概要

小学校、中学校、高等学校段階をそれぞれ円滑に接続し、発展させるために教育内容の節目を工夫して論理的思考力を高めるとともに、異学年や異文化経験者等と交流し、国内外で様々な体験活動を行います。

教育課程は変更になる場合があります。

【一貫性の考え方】12年間で3フェーズをつないで「目指す生徒像」へと成長します。

第1フェーズ 第1学年～第8学年



耕す Cultivate

第2フェーズ 第9・10学年



芽吹く Sprout

第3フェーズ 第11・12学年



花開く Bloom

目指す  
生徒像

第7学年から、新たな仲間が加わり、1学年160名のチームになります。「芽吹き」、「花開く」のために、この「耕す」期間が重要です。

育てたい力

第1学年～第6学年（小学校段階）

～基礎学力の定着の徹底と  
個々の児童の特性に応じた指導～

- ①論理的に思考する力
- ②身近な事柄について、外国語で簡単なやり取りができる力
- ③身近な人々と協働することができる力
- ④体験から課題を見いだす力

第7学年～第12学年（中学校・高等学校段階）

～幅広い教養を活用し、生徒自らが  
将来に向けて個性と能力を発揮できる指導～

- ①批判的に吟味する力
- ②幅広い話題について、外国語で明確かつ的確に考えを表現できる力
- ③多様な人々と協働することができる力
- ④体験を踏まえて省察する力

## 3つの特色

特色 1

### 探究的な学び

考える方法を知り、根拠に基づいて思考する力の向上  
教科等における探究的な学びと独自の探究プログラムの実施



### 【探究プログラム：立国LEADERプログラム】

LEARN	EXPERIENCE	ACTION	DEVELOP	EXPRESS	REFLECT
→様々な課題を解決しようと意欲的に学ぶ	→多くの経験をし、その経験を学びにする	→学んだことを行動にうつす	→学びを発展させる	→学んだことを表現する	→学んだことを様々な場面に反映する

小1

生活

小2

生活

小3

総合的な  
学習の  
時間

小4

総合的な  
学習の  
時間

小5

総合的な  
学習の  
時間

小6

総合的な  
学習の  
時間

中1

総合的な  
学習の  
時間

中2

総合的な  
学習の  
時間

中3

総合的な  
探究の  
時間

高1

総合的な  
探究の  
時間

高2

総合的な  
探究の  
時間

高3

キャリア  
プラン  
の実現

小学校段階						中学校・高等学校段階								
第1フェーズ						第2フェーズ			第3フェーズ					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
●体験から「なぜ」を発見 →リサーチエスチョン（RQ）の基礎作り			●RQの基礎作り、検討、設定 ●「自然科学」「人文社会」の両分野について探究的な学びを实践 →探究的な学びのプロセスの体験			●人間の在り方 生き方を探究 ●国内の課題を探究 ●世界の課題を探究 →LAP*で実践			●国内外で発信 ●進路実現に活用					
●探究的な学び方の基礎作り →立国探究プランを各教科等で実施						「考える技」、「調べる技」、「表現する技」等の学び（初級→中級→上級）						日本語・英語で論文作成		

※LAP：リーダーシップ・アクションプログラム（Leadership Action Program）

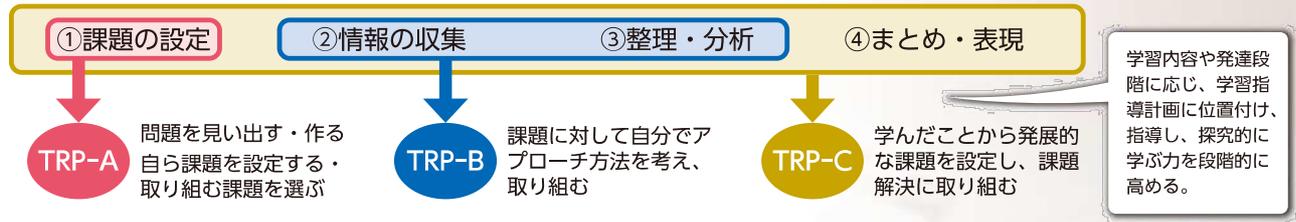
全員が海外で研究、インターンシップ、ボランティア等の活動に参加します（国内研修と成果発表を含めて3か月間程度実施予定）。



**小学校段階の探究的な学び**

探究的な学び方を身に付けるための各教科等で実施する「立国探究プラン（TRP）」と「探究の技」の蓄積・活用をととして、探究的に学ぶ力を高めます。

**立国探究プラン (Tachikoku Research Plan)** → 探究のプロセスを3つのフェーズに分け、各教科等の学びの中で実践



**探究の技**

各教科等の学びにおいて身に付けた見方・考え方を「探究の技」とし価値付け→整理・蓄積・活用・更新

**「探究の技」の整理・蓄積・活用・更新**

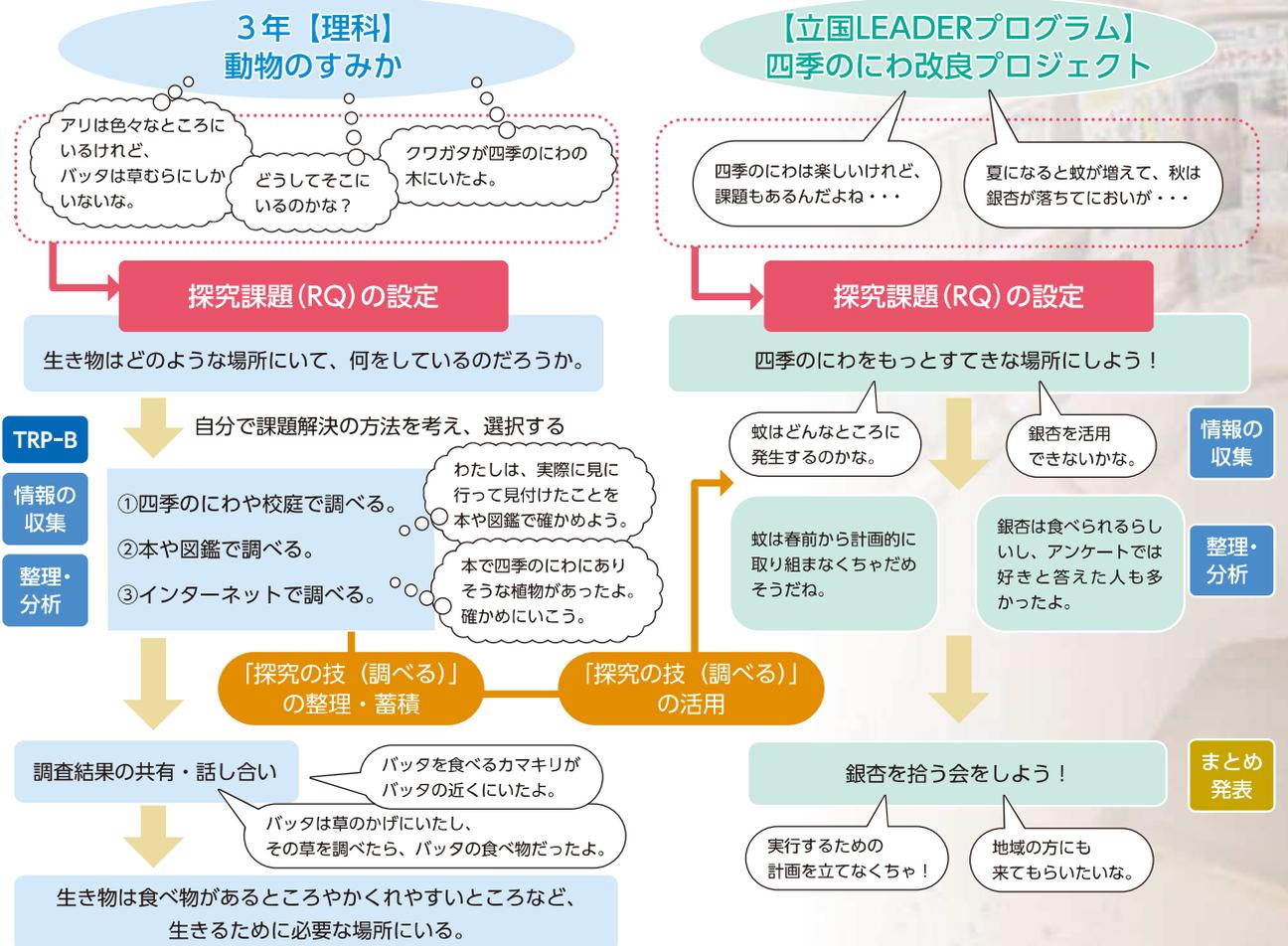
「探究の技」を活用し、自ら見いだした課題を解決し、探究的な学びを実践



**探究の技 (例)**

考える技	並べる	比べる	わかる	結び付ける	見通しを立てる	...
調べる技	調べる	多面的に調べる		根拠を見付けるために調べる		...
表現する技	差異や共通点をまとめる		整理してまとめる		構造的にまとめる	...

**探究的な学びの例**



## 特色 2 語学力とそれを支える言語能力

世界で通用する語学力の育成とそれを支える言語能力の向上



- 第1学年から週4時間の英語の授業を実施、義務教育の9年間で通常の学校より1000時間以上多く外国語を学習
- 英語を実践する機会や第二外国語にふれる機会として、東京都教育委員会のプログラムを活用

### プログラム例

※令和7年度現在のものであり、変更になる場合があります。



#### 次世代リーダー育成道場

国内事前研修で様々なことを学び、その成果をもって留学にチャレンジする都立高校生等を支援するプログラム。このプログラムをとおして、世界を舞台に活躍する国際感覚豊かでたくましい若者を東京から輩出していくことを目的としている。



#### 東京体験スクール

より多くの都立高等学校等において、在籍する生徒が日本にいながら国際交流機会を得られ、国際理解を深めることができるよう、海外からの留学生の受入拡大を推進している。

※「Tokyo GLOBAL Student Navij」へのリンクです。「動画一覧」の頁をご覧ください。



### 語学力 (外国語教育)

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
内容を重視した授業 (CBI) による学び				・CBIによる発展的な学び ・アクティブ・グラマー				SDGs等に基づく課題学習		アカデミック・イングリッシュ	
内容と言語を統合させた学習 (CLIL) の手法に基づく学びにより外国語の活用力を向上											

小学校段階						中学校・高等学校段階							
第1フェーズ						第2フェーズ			第3フェーズ				
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
短時間学習 (Eタイム) ※全校種を通じて少人数や習熟度別の指導を工夫													
<b>英語教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 専科教員や外国人指導者、JETプログラムを活用した授業</li> <li>● 聞く・話すなど体感する授業から、読み・書きを取り入れた授業へ</li> <li>● ICTの活用による海外姉妹校との交流</li> <li>● 英語によるプレゼンテーション</li> <li>● 英語によるディベートや論文の作成</li> </ul>													
<b>多言語教育「マルチリンガルスタディⅠ」 出会う</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 特別活動等で様々な言語と出会い、言語のおもしろさにふれる。</li> <li>● 自分とは異なる人々、暮らしや文化があることを知る。</li> <li>● 児童会やクラブ活動で学びの場を広げる。</li> </ul>						<b>多言語教育「マルチリンガルスタディⅡ」 深める</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マルチリンガルスタディⅠの学びを参考に、より知りたい言語を第二外国語として選択し、授業で深める。</li> <li>● 様々な機会を捉えて実際に活用してみる。</li> </ul>							
《到達目標の目安》						英検3級レベル		英検準2級レベル		英検2級レベル		英検準1級レベル	
第1学年は東京外国語大学と英語の成果検証を実施						第2学年からはケンブリッジ英検を実施							

### 言語能力

小学校段階						中学校・高等学校段階					
第1フェーズ						第2フェーズ			第3フェーズ		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
● 国語や生活科を中心に主として体験と言葉をつなぐ活動		● 国語や算数、理科を中心に主として論理的に文章を読んだり考えたりする活動		● 国語や算数、理科を中心に主として多面的に追究する活動		● 地域調査、文献調査基礎 ● 特別講師による指導、助言 ● 理数分野等における発展的学習		● 地域調査、文献調査発展 ● 特別講師による指導、助言 ● 理数分野、人文社会分野等における発展的学習 ● 探究プログラムの企画、実行		● 研究成果の発信 (日本語・英語) ● 論文作成 (日本語・英語)	

## グローバルマインドセット・カリキュラム

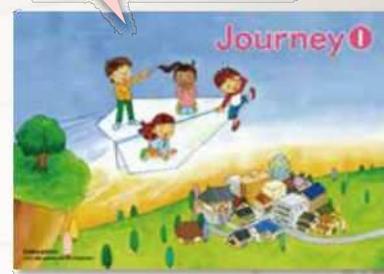
英語教育、マルチリンガルスタディ I・II、LAPの3つを相互に関連付け、グローバル人材としての素地を育成

	小学校段階						中学校・高等学校段階					
	第1フェーズ						第2フェーズ		第3フェーズ			
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
英語教育	内容を重視した授業（CBI）による学び 内容と言語を統合させたCLIL的な学習						アクティブ・グラマー CLIL		SDGs		アカデミック・ イングリッシュ	
多言語教育	様々な言語と出会い、様々な人々、暮らしや文化があることを知る。						学びたい言語を選び、深める。		実際に活用してみる。			
LAP	立国LEADERプログラム（生活→総合的な学習の時間→総合的な探究の時間）の内のLAP											

### 小学校段階の英語教育について

- 低学年では、Journey（東京都教育委員会が本校用に作成したテキスト）を使用して、外国人指導者と共に「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の基礎から学びます。
  - ・初めは「聞くこと」を重視します。
  - ・音声十分に慣れ親しんで「話すこと〔やり取り〕」に取り組みます。各ユニットの最後に「話すこと〔発表〕」活動を行います。
  - ・「書くこと」は徐々に学びます。
- 2学級を4展開して少人数の指導をします。
  - ・標準クラスと発展クラスの習熟度別2コースを設定します（第2学年からは応用クラスも設定）。Journeyの他に欧米の実践を参考にして厳選した洋書も活用します（洋書の使用割合はクラスによって異なります）。
  - ・クラス分けは、授業時の様子や定期考査の結果等をもとに行います。
- 低学年では週4時間の英語の授業の内1時間は、「Eタイム」として週3回、朝15分に分割して行います。
  - ・テキストを活用して復習（補充）や予習をします。
  - ・フォニックス（※）を学習します。
    - ※「英語の綴りと発音の規則性を学び、英語を正しく読めるようになるための学習方法」
  - ・文部科学省や東京都教育委員会の教材、CD、絵本等も活用して発展的な学習をします。

CLIL的な学習ができるよう他教科等との関連を意識したテキスト（1年生）



▲表紙

### 多言語教育「マルチリンガルスタディI」**出会う**について

中学校・高等学校段階で、自分の将来の生き方を視野に入れた言語選択や、言語や国に対する深い興味・関心に基づいた、積極的・主体的な言語選択につながるようにします。

東京外国語大学や中央大学等と連携して、月ごとに6言語を学習	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	韓国語		中国語			ドイツ語	スペイン語	フランス語			アラビア語	
1年生				【体験重視】	遊び・スポーツ・(歌・ダンス)							
2年生				【体験重視】	食生活	※給食とコラボレーション						
3年生				【体験重視】	衣服(民族衣装)・年中行事							
4年生					学校生活							
5年生					地理(自然)							
6年生					地理(産業)							

学年ごとに、教科等に関連したテーマを設定して学習します。

- 月1、2時間程度実施します。毎時間、挨拶を含み、国際理解とともにテーマに関連する音声言語と文字言語に出会います。
- 年1時間（8月か1月）、全校でその他の言語にふれあう機会を創出します。その際はテーマ（地域等）を決めて言語を選択し、必要に応じて「チーム立国人材バンク」(※)に登録した保護者の方にもご協力いただきます。
  - ※様々な教育活動に保護者の方のキャリアを生かして、教育活動の充実を図るために設置する組織。